

【入学試験について】

- Q 1. 補習校の目的は、在留する子どもたち全てを受け入れることが趣旨だと思うのですが、なぜ入学試験をするのですか。
- A. 目的はその通りです。しかしながら、本校においては教員数の増減により学級数が確定し、現実的には教員数の維持・確保が容易でない状況にあるため、入学希望者全員を受け入れることは困難です。また本校では児童生徒が短時間で多くのことを学ぶため、一定以上の学習力を必要とすることなどを踏まえた上で、入学試験を行っています。
- Q 2. 入学試験の日には事情があり来られません。別の日に試験をしてもらえますか。
- A. できません。入学試験に欠席の場合は、その理由に関わらず受験辞退とみなされます。
- Q 3. 入学試験の日に保護者が同伴できません。代理の者が付き添って入学試験を受けさせたいのですが、いいですか。
- A. 保護者面接で保護者の方に確認させていただくことがありますので、必ず保護者の方が同伴してください。
- Q 4. 保護者面接があるのはなぜですか。
- A. 補習校での学習活動には保護者の方の協力が不可欠です。そのために、本校に対してご協力（家庭での十分な日本語環境の確保、家庭学習の支援、保護者会活動等）いただけるかどうかを確認させていただくために、面接を行っています。
- Q 5. 保護者会活動への協力についてですが、仕事で忙しいため、トイレ当番か行事手伝いならできますが、PA役員や学級委員にはなれません。それでもよろしいですか。
- A. PA役員、学級委員、トイレ当番、行事手伝い、基本的にどれも本校授業日（土曜日）の活動で、負担は同じです。どれかができないという場合は、入学が許可されません。
- Q 6. 保護者面接には両親がそろって臨まないといけませんか。
- A. いいえ。両親のうち、どちらか1人で構いません。
- Q 7. 国際結婚の家庭です。面接に日本人である親が来られません。
- 1) 配偶者は日本人ではありませんが、日本語での意思疎通に問題はないので、保護者面接に臨んでもいいですか。
- A. 日本語に堪能な配偶者の方であれば、問題ありません。
- 2) 配偶者は日本語ができないので、通訳を同伴して保護者面接に臨んでもいいですか。
- A. 構いません。

Q 8. 入学試験の内容や合格基準は、どのようなものですか。

A. 入学試験の内容及び求められる力については、当ホームページの「編入学案内」の中に詳細を記載しています。そちらをご確認の上、十分に準備して入学試験に臨んでください。

Q 9. 児童生徒の面接は、どのような形で行われるのですか。

A. 新小学1年生の面接試験はグループごとに行い、所要時間は20分程度です。小学2年生以上の児童生徒に対しては面接官が個別に面接を行い、所要時間は10分程度です。いずれも、保護者が児童生徒の面接室に入ることはできません。

Q10. 新小学1年生の面接試験で、音読はあるのでしょうか。

A. ありません。絵を見たりしながら口頭でお話するだけです。

Q11. 2月の入学試験に不合格だった場合、どうしたらいいのでしょうか。

A. 年度途中は6月と10月に編入の機会を設けているので、それに合わせて受験をしていたいただいても構いませんし、翌年に受験していただくことも可能です。